

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「きりり」白金高輪校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえ た改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	パーティションを利用して適切な空間を設け、簡単な運動もできるようにしています。	児童の特性に合わせて環境設定をしていきます。
	②	職員の配置数は適切である	3	2	11月よりシフト制にして、週6日営業になりましたが、職員配置は適切です。	入れ替え時に見守りの目が行き届かないことがないように努めます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	1	1階で段差が無いので、ベビーカーでも通所できます。車椅子でも対応可能です。	利用児童の特性について日々のミーティングや支援記録などで情報共有して、児童によって過ごしやすい環境設定をしていきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	0	新型コロナウイルスは5類になりましたが、日々の清掃で、アルコール除菌を継続しています。	今後もアルコール除菌を欠かさないようにして、清潔な環境を心がけます。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	0	日々のミーティングを大切にしています。	業務改善のために、どの職員も自主的にPDCAサイクルに参画していきます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	評価表の結果をもとに会議を開き、保護者の意向を把握しました。	今後も保護者の意向を踏まえて、業務改善に努めていきます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果をホームページで公開しています。	今後も事業所の支援の質を高めていくために、活動を継続していきます。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	5	法人内で内部監査があり、業務改善に努めています。	第三者による外部評価を検討していきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	発達支援研究所の定期研修などを受けています。	今後も積極的に研修を受けて、職員の資質向上に努めます。
適切な支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0	アセスメントの際に、保護者に協力してもらうことで細かなニーズやその子の課題を共有できています。	これからも子どもの状況を把握するアセスメントをしていきます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	法人が定めたアセスメントシートを使用しています。	これからも子どもの状況を把握するアセスメントをしていきます。

の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	0	支援時の様子や保護者との振り返りをもとに、支援計画の内容を具体的に設定しています。可能な限り、保育園等に訪問して、その時の様子も支援内容に生かしています。	個別を中心にした支援計画のため「発達支援(本人支援及び移行支援)」が主となりますが、必要に応じて「家族支援」「地域支援」にも触れています。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0	指導員同士で互いの支援を気にかけて、計画とずれないようにしています	今後も指導員は個別支援計画に沿った支援をしています。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	2	ミーティング等で誰もが意見を出し合えるようにしています。	各職員の意見を集約して、チームで活動プログラムを作っています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	児童の成長に合わせています。	支援内容が固定化しないように工夫していきます。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	1	2	現状では個別療育が主となっています。	今後は保護者の希望を募り、小集団療育に取り組んでいきます。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	1	前日と変更がある場合は、事前に確認し合うようにしています	報告・連絡・相談の基本を忘れないようにしていきます。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	ミーティングで支援の振り返りや、伝達事項の共有をしています。	様々な日々の気付きや、ヒヤリ・ハットの共有につなげていきます。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	記録は欠かさずとっています。ミーティングで伝えきれない事項を記録に書き、情報共有や支援の検証につなげています。	記録を残すことを大切に、漏れが無いようにチェック体制をとり、日々の業務に当たります。
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0	指導員の協力を得て、6か月ごとにモニタリングを行っています。	今後も本児の発達を見ながら、定期的にモニタリングを行っていきます。	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	児童発達支援管理責任者が参画しています。	サービス担当者会議には可能な限り、積極的に参加していきます。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	0	保護者の要望にあわせ、保育園や幼稚園を訪問しています。	可能な限り、連携した支援をしています。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	0	該当なし	該当なし
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	0	該当なし	該当なし

	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	2	保育園等の訪問や電話などで、支援内容などの情報共有をしています。	今後も可能な限り、保育所や園との情報共有と相互理解を図っていきます。
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	0	保護者から依頼された小学校へ提出する書類に、支援内容などの記録を書いています。	小学校や特別支援学校と、直接つながることができるようにしていきます。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	0	事業所やセンターからの電話や、保護者を通して情報共有をしています。	今後も、専門機関との連携の機会を持つようにしていきます。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	4	1時間の個別療育のため、教室外へ出て交流する機会がありません。	障害のない子どもたちとの活動は難しいかもしれませんが、方法を探っていきたいと思います。
	②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	4	協議会などに参加する機会がありませんでした。	地域とのつながりを持てるようになっていきます。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	毎回支援後に15分の振り返りを行い、保護者との共通理解の場をしています。	児童だけでなく保護者への支援も大切なので、これからも支援後の保護者との振り返りをしていきます。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	0	4	支援後の保護者との振り返りや事業所内相談などで、家族支援をしています。	これからも保護者の要望に応えられるように、家族支援プログラムに取り組んでいきます。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	契約時に書類を見せて説明しています。	今後も丁寧な説明を心掛けていきます。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0	支援記録やアセスメントなどを元に作成した支援計画を示しながら、支援内容について説明をし、保護者の同意を得ています。	今後も児童発達支援ガイドラインに基づき、支援計画の作成を行い、保護者に内容説明するとともに同意を得ていきます。
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	支援後の振り返りや事業所内相談で、相談に適切に応じています。	保護者の要望に応えるよう努めていきます。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	5	個別療育が主のため、保護者会等は開催していませんが、保護者同士が歓談できる環境にはなっています。	保護者のニーズを確認しながら、保護者同士の連携を支援していきます。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	相談・申入れについては迅速に対応する体制を取っており、職員が事業所内相談等で対応致します。	今後も子どもや保護者からの相談や申入れについては、迅速かつ適切な対応をしていきます。
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	2	ホームページでのブログ発信やX(旧Twitter)、LINEを使って情報発信をしています。	今後もネットを有効活用して、子どもや保護者に情報発信をしていきます。

	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	5	0	契約時に同意書を交わしており、個人情報の取扱いには十分に注意しています。	今後も個人情報の取り扱いには細心の注意を払うようにします。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	絵カードなどで視覚化する、事前にLINE等で連絡を入れるなど、個別対応をしています。	今後は状況によってはタブレット等も使用し、子どもの障害特性や意思疎通の難しい保護者の要望に応じて、個別対応をしていきます。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5	大家さんを通じて、地域とのつながりを作るようにしています。	行事は行っていませんが、地域に開かれた事業を目指していきます。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	0	緊急時の対応等について、保護者に契約時に説明しています。	職員は各マニュアルの内容を熟知して事業所の運営に当たります。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	毎月1回、訓練を行っています。訓練結果は入口の壁に掲示しています。	今後も定期的に必要な訓練を実施していき、可能な限り利用児童や保護者にも参加してもらいます。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	0	契約時に基本情報の確認をします。支援後の振り返りなどで服薬等の確認をしています。	これからも、服薬などの子どもの状況を確認して支援に当たります。てんかん発作等のある児童については、発作時の対応を職員で共有します。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0	4	食事の提供はありませんが、アレルギーのある児童の情報は把握しています。	アレルギーのある児童は、粘土の使用などに配慮していきます。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	事業所内スプレッドシート上に事例集を作成し、職員が加筆することや閲覧することができます。	今後もヒヤリ・ハットの記録を欠かさないようにしていき、事故やケガの防止に努めていきます。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	年2回以上、虐待防止・身体拘束委員会を開き、事業所内研修をしています。	今後も職員研修の機会を確保していき、虐待の防止に努めます。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	0	年2回以上、虐待防止・身体拘束委員会を開いています。契約時の重要事項説明書で、身体拘束について保護者に説明しています。	身体拘束の必要がある場合は必ずガイドラインに基づく三要件を確認して、記録や保護者の同意を得ます。必要に応じて支援計画にも記載します。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」白金高輪校 保護者等数（児童数）：11(11) 回収数：10 割合：90%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	1	0	0	もっとスペースが広いといいなと思います。	なるべく支援スペースを広く取るように致します。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	10	0	0	0		保育士資格のある指導員が支援に当たっています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10	0	0	0		1階で段差もないため、ベビーカーで入室できます。トイレには補助便座も用意しています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9	1	0	0		机上課題を中心に、簡単な運動ができるスペースも確保しています。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	9	1	0	0		支援記録やアセスメントを元に計画を作成しています。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9	0	0	1		個別支援を中心とした「発達支援(本人支援及び移行支援)」が主となりますが、「家族支援」にも積極的に取り組んでいます。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10	0	0	0		計画に沿った支援をしています。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	8	1	0	1		プログラムが固定化しないよう工夫していきます。
	⑨	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	0	3	3		個別支援が主のため交流はありませんが、保護者の要望に応じて、保育園等へ訪問見学をしています。
保護者への説明	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10	0	0	0		契約時に説明をしています。教室内のファイルでいつでも閲覧可能です。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	10	0	0	0		支援計画を示しながら内容を説明し、保護者の同意を得るようにしています。

明 等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	5	0	2	3	支援後の保護者との振り返りや事業所内相談などで家族支援をしています。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	10	0	0	0	これからも支援後の振り返りなどを通して、共通理解を図っていきます。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	1	0	0	事業所内相談や支援後の振り返りを大切にしていきます。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	1	3	4	個別支援ではありますが、できる範囲内で対応していきます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	8	1	0	1	相談・申入れについてはどの職員も迅速に対応致します。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9	0	0	1	外国籍の保護者との意思疎通には、ICT 機器の翻訳機能を用いて対応しています。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	7	0	1	2	ホームページや教室内掲示で、情報発信をしています。X(旧 Twitter)、LINE も活用しています。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	9	0	0	1	契約時に同意書を交わし、個人情報の取り扱いには十分に注意しています。
	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	8	0	0	2	策定したマニュアルを元に訓練を実施しています。
非常 時 等 の 対 応	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9	0	0	1	定期的に訓練をしており、その報告を入口に掲示しています。
満 足 度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	10	0	0	0	これからも利用児童が楽しく通える事業所づくりを心掛けていきます。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	10	0	0	0	お子様が楽しく通えることを大切にしながら、利用者様、保護者様の満足につながる支援をしています。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。